

< あなたの治療について >

血内 - RVD - lite - MM - q5w





今回の治療は、RVD-lite という治療法で、ベルケイド（BOR）という注射薬とレブラミド（LEN）とレナデックス（DEX）という内服薬を併用して行います。ベルケイド、レブラミドは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。レナデックスは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は5週間が1コースとなっています。各コースの1、8、15、22日目に皮下注を行い、1日目の皮下注の日から21日間に渡ってレブラミド（LEN）を服用します。また、レナデックス（DEX）は1、8、15、22日目に服用します。この治療を5週間（35日間）ごとに9回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

あ

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1 日目	2-7 日目	8 日目	9-14 日目	15 日目	16-21 日目	22 日目	23-35 日目	
①	レブラミド カプセル (抗がん剤)	内服								お休み	
②	レナデックス錠 (ステロイド)	内服		お休み		お休み		お休み		お休み	
	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2-7 日目	8日目	9-14 日目	15日目	16-21 日目	22日目	23-35日目	
①	ベルケイド (抗がん剤)	皮下注		お休み		お休み		お休み		お休み	

★ 注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。

◎起りやすい副作用について（頻度20%以上）

ベルケイド、レブラミドについて

●白血球数減少、好中球数減少、リンパ球数減少、血小板数減少、貧血 ●AST (GOT) 増加、LDH 増加 ●食欲不振、悪心 ●便秘、下痢 ●発熱 ●疲労 ●感覚減退 ●筋痙攣

◎特徴的な副作用について

ベルケイドにおける

●肺障害

「息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱」などの症状

●心障害

「息切れがする、咳き込む、急に胸が痛む、脈が乱れる、めまいがする」などの症状

「階段や坂道をすこしのぼただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

●感覚障害

末梢性ニューロパシー「足又は手のしびれ、疼痛又は灼熱感」などの症状

自律神経ニューロパシー「起立性低血圧、イレウスを伴う重度の便秘」などの症状

●低血圧

●疲労、浮動性めまい、失神、起立性低血圧、霧視など

* 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう注意すること。

レブラミドカプセルにおける

●疲労、めまい、傾眠、霧視

自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないように注意すること。

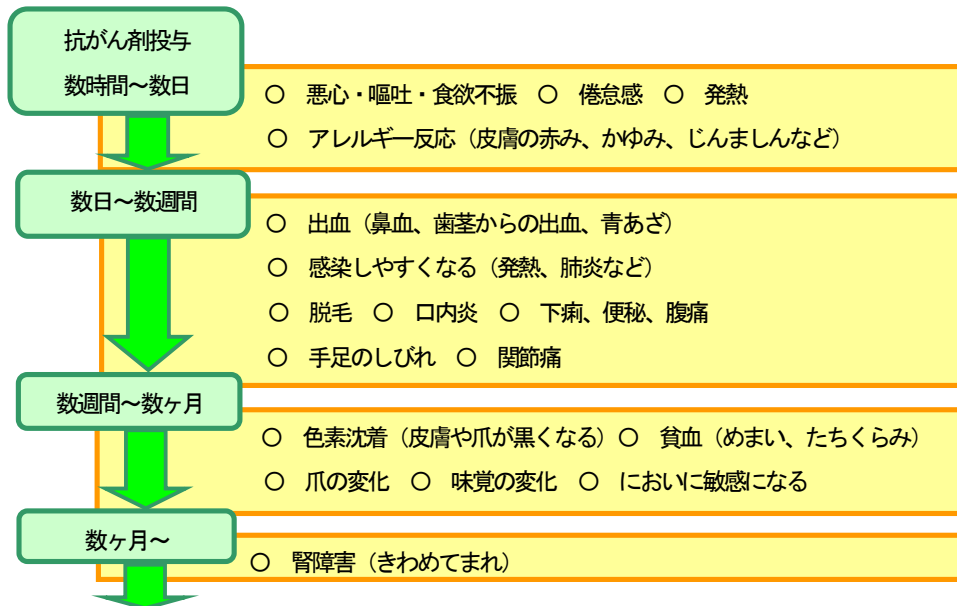
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ペルケイド】

- 〈肺障害〉から咳、息切れ、胸が苦しい、発熱。
- 〈心障害〉動悸・息切れ、胸が痛い、足のむくみ。
- 〈末梢性ニューロパシー〉手足のしびれや痛み、手足の感覚が鈍くなる。
- 〈麻痺性イレウス〉おなかがはる・著しい便秘、腹痛、吐き気。
- 〈好中球減少症や血小板減少症などの骨髄抑制〉発熱、悪寒、咳が出る、めまい、体がだるい。疲れやすい、息切れ、喉の痛み、出血しやすい、血が止まりにくい。
- 〈低血圧〉立ちくらみ、めまい、体がだるい。
- 〈腫瘍崩壊症候群〉尿が少なくなる、血尿、意識がうすれる、けいれん。
- 〈発熱〉かぜの症状がない38℃前後の発熱。

【レブラミドカプセル】

- 〈骨髄抑制〉全身倦怠感、発熱、鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血、腹痛、黒色便、息切れ
- 〈深部静脈血栓症、肺塞栓症〉急激な手足の腫れ・痛み・しびれ・発赤、呼吸困難、胸痛
- 〈脳梗塞、一過性脳虚血発作〉しびれ、頭痛、片麻痺、意識障害、言語障害
- 〈皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症〉発熱、眼出血、紅斑・水疱
- 〈間質性肺疾患〉発熱、から咳、呼吸困難

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。